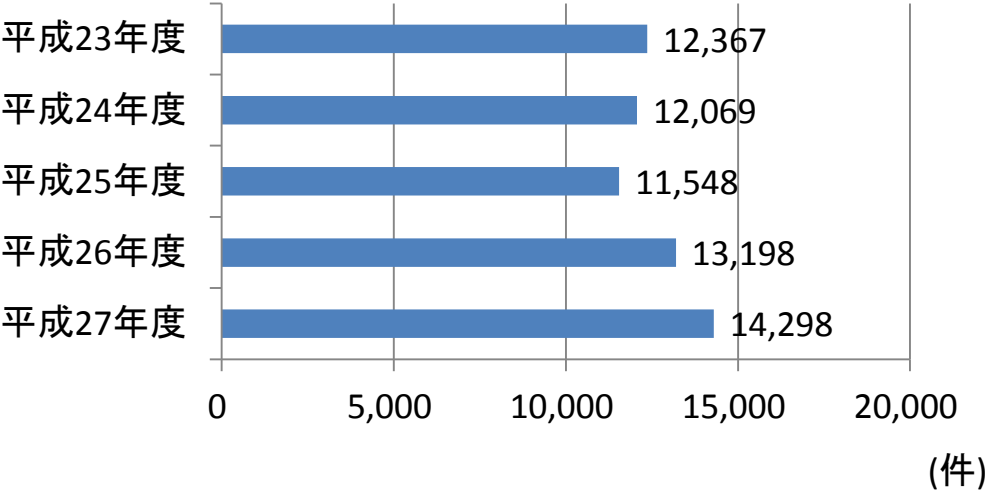


20 病理組織診断件数

解説	大学病院は高度な治療を行うだけでなく、その前提となる診断が適切になされることが肝要であり、正確な診断にも同じ重きを置いています。正確な診断の最終根拠として、病理診断が要ですが、診療全体の中で病理診断が必要となる状況がどの程度あるかを示す指標です。												
実績	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度</td> <td>12,367</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>12,069</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>11,548</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>13,198</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>14,298</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数	平成23年度	12,367	平成24年度	12,069	平成25年度	11,548	平成26年度	13,198	平成27年度	14,298
年度	件数												
平成23年度	12,367												
平成24年度	12,069												
平成25年度	11,548												
平成26年度	13,198												
平成27年度	14,298												
定義	「N000 病理組織標本作製(T-M)」と「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の件数です。入院と外来の合計とします。細胞診は含めません。												